

中央情報通信

発行日 毎月15日

大日本生産党機関紙

第1430号 令和8年6月15日号

第11回 硬石忌
6月27日(土) 午後4時
唐津市 Otte ホール

	米中トップ会談の裏事情	本紙編集部	1
	イスラム教徒急増問題を考える		2
読者投稿	言語力に関する権威主義		3
	核戦争の足音が聞こえ始めた		3
	イラン革命防衛隊こそが諸悪の根源		4
読者投稿	ベトナム人は素晴らしい!? — 神戸の街から		5
	大阪府大東市下の、ある中学校教育現場から〈17〉		5



本 社 〒847-0871 佐賀県唐津市東大島町 19-5
電話 090-3199-8446 no.shin.7771008@gmail.com
賛助購読料 年額 3,000円 (年10回発行)
ホームページ <http://大日本生産党.com/>

発行所
中央情報通信社
編集長／谷田 透

一路も進まず、人民元の国際決済通貨化も不能となり、もう習近平には打つ手が見当たらない。一方、トランプも二〇%しか存在しない岩盤支持層が減少し始めていると

イスラム教徒急増問題を考える

現在、日本にイスラム教徒（ムスリム）が急増して、各地で様々な問題が起こっている。関東ではクルド人問題と併せて「移民反対」「不良外国人排斥」という国民運動に発展しつつある。中でも「ムスリムは土葬なので墓地問題は重大だ」という声が大きくなり、全国に飛び火しつつある。

政府が全国の一・二九自治体を対象に「土葬」に関するアンケートを実施したところ、今の段階で十一自治体が土葬墓地を持ち、土葬条例を持っていることが判った。埋葬方法に関しては、自治体の条例で対応することになっているので、法律や省令などは関知していないのだ。

国内のムスリム人口は昨年の推計で約五十万人と見られており、礼拝施設やモスクなどが足りない。と彼らは主張する。ムスリムは一日五回の礼拝は、何処でどのような行なっても大丈夫だと言うが、空港でも足を水で洗って礼拝している姿を見ると、厳格な教派の信徒はかなりの厳しい宗教的規制があるのかもしれない。

歴史的なモスクがある神戸市では、周辺にイスラム教の規制食料品（ハラール）を売る店が増えてきた。一般人は関係ないのに、規制食料品が厳格なイスラム教とユダヤ教（コーシャー）では信徒の生活は大変なのだという。彼らが生きてゆく上で、神への信仰と食事というのは「絶対的」なのである。

ユダヤ墓地は神戸外人墓地の中に在るが、ユダヤ教もカトリック教も土葬が基本と言われているのに、何故イスラム教の土葬は

いう不安を抱えている。結局、自分がジャイアンだと気づいた両巨頭が会談して、お互いの顔色を確認し合っただけでも良しとするのが幸せだ。

かりを世論が問題視しているのかを考えないと、今後また良からぬ勢力の扇動に乗せられて混乱するだけになるかもしれない。

現代日本でも、昔ながらの仏教墓地に「〇〇家の墓」という家族集中墓が少なくなり、個人墓が増えてきた。火葬で散骨という「無墓方式」も少しずつ増え、埋葬形態も大きく変わってきた。保健所の許可さえあれば、基本的に土葬は以前から行なわれているのも事実だ。



来日するムスリムは、実はアラブ系より圧倒的にインドネシア人が多く、マレーシア人、シンガポール人など東南アジア人が全体の半分以上を占めている。

地域住民とのトラブルを起しがちなパキスタン人、バングラデシュ人、クルド人などがムスリムの場合が多いので、イスラム教が全ての元凶だと思われるのも無理はない。実のところ聖戦を叫んで爆弾テロをやっているムスリムは、全体の1%もないのだが

「悪貨が良貨を駆逐する」結果になっている。

イスラム教は基本的に「六信五行」と言われて、六つの信仰と五つの行動が義務付けられているが、教派や寺院の指導者や法学者によって実際の義務の本質がバラバラなのが現実だ。日本の仏教宗派の対立などは、イスラム教に比べれば無いのも同じだ。

分かり易い話に落とし込んで、ネットなどを利用する世論操作に乗せられる人が多いが、イスラム教やユダヤ教の信徒が友人に居る人は少ないはずだ。つまり、実際に知っている人は極めて少数派なのである。

問題の本質が何なのか、原因がどこにあるのかを、政治家が理解できているのだろうか？

マスメディアは単に商売であり、多数者

を客に出来ればそれで良いので、政治家とは責任の重さが違う。イスラム教徒急増問題は、まずは政治家を教育することから始める必要があると思う。

読者
寄稿

言語力に関する権威主義

匿名(中学校国語教員)

「正しい日本語を使おう」と呼び掛けられることは多いが、それは目標・目的であって入り口ではないように思う。「言葉は通じることが重要」という声も正しいと思う。

最近では全国的に定住外国人が増えて、片言の日本語で頑張って話す人たちが目立つようになってきた。民族性や母国語によって日本語に独特の訛りが出て、慣れてくると南米系、東南アジア系などが見当がつくようになってくる。会話が成立していれば、日本語能力は合格と考えても良いと思う。下手な日本語を聞いてあげられる側の能力や親切心があれば、言語の比較文化を体感できる機会になるかもしれない。

その逆に、日本人が英会話スクールを代表格とする外国語会話を勉強しようというブームも健在だ。その中では「ネイティブスピーカーが講師」とか「TOEICのレベル向上」とか言って外国語会話にレベルがあり、「本物」が頂点であると権威主義を煽り、ピラミッドの頂点に近づかなければ

意味がないように刷り込まれる。

小学校の時から、国語の授業は「正しい日本語」を習うものとされて、「美しい言語」「通じる言語」は「正しい」よりも下位に置かれることが目に付く。

これは保守系の人に多いが、若者言葉やカタカナ多用を見下げて扱う声は昔からよく聞く。言語を文化として捉えるのか、コミュニケーションとして捉えるのかで「言語の価値」は異なる。時と場所と状況(TPO)によって「言語価値」は違って当然だと思うが、それを同一のピラミッドに置いてしまふ権威主義があるのではないだろうか。裏返せば、これは「肩書き至上主義」と同様のもので、大学教授や弁護士、政治家や社長などと肩書きが付くと「偉い人」「信用できる人」だと早とちりするのと似ている。

言語にはさまざまな顔があるが「言語は通じることが入り口」だという大らかな心があれば、詐欺的な権威主義を見抜けるかもしれない。

核戦争の足音が聞こえ始めた

イギリスは第二次大戦の時に、ナチスドイツの暗号解読と盗聴に成功し、連合軍の勝利を決定的にした。それ以来、イギリスでは情報部は軍の中にあり、現在も世界最高レベルの活動をしている。

そのイギリスの当局が先日、ロシアがウクライナ軍の攻撃によって五〇万人の兵士が死亡し二〇〇万人の兵士が負傷していると公式に発表した。これは驚くべき数字であり、ロシア軍の無線の解析により、ウクライナ軍のロボット兵(小型タンク)が前線でロシアの歩兵を全滅させていることが判明したそうだ。

ロシア側は戦争継続が困難になる前に、NATOの核基地を叩いておかねば、NATO軍からロシアの核施設に限定核ミサイルが撃たれる危険性があるという議論になったようだ。つまり、ロシアからドイツやフランスに向けて小型限定核ミサイルを先手必勝で使う気になったということだ。そうなれば仕返しにNATO(中心はアメリカだが、今回は仲介者になるつもり)軍からは大量の核ミサイルがモスクワに飛ぶことになる。

上手な負け方を知らないロシアは、そこまで追い詰められている。

イラン革命防衛隊こそが諸悪の根源

イランは古代ペルシャの時代、バビロニアに弾圧される気の毒なユダヤ人を守っていた。バビロン捕囚からユダヤ人を解放した守護者はペルシャだったのだ。

ペルシャ時代からは日本とも縁があったそう、ホメイニ革命以前には留学生も多く日本に来ていた。イランが王制から革命が起こって「イスラム共和国」となったのは一九七九年のことだ。王制時代は日本ともアメリカとも親しくて、テヘランなど都市は豊かで自由な所だった。ただ、民族差別や貧富の格差が大きくて、地方では乞食のような生活を強制される人々が多かったそうだ。

貧乏な国民も同じイスラム教徒なのに、国も王も間違っているから革命を起こすべきだというシーア派の原理主義者と、支援する共產主義者が中心となって、亡命していた有名な坊さんのホメイニを呼び戻して革命の神輿にした。

ホメイニが殺されないよう「ホメイニ親衛隊」がソ連の支援で作られ、共和国政府とは無関係な最高指導者と教義だけを守る軍隊が生み出された。

選挙は大統領と呼ばれる「単なる行政の長」を選ぶもので、行政の枠外にいる革命防衛隊に対しては何の影響力もない。革命評議会も最高指導者の前では無力だ。

革命前に大阪大学に留学していた三人のうち、王族の身内が二人、一般人が一人だったが、ホメイニ革命直後に全員呼び戻されて「ホメイニの面接」を受けさせられた。王族の二人はそのまま行方不明に、一般人の一人は面接の際にホメイニから「お前は私が若い頃に居た寺に来ていたから許す」と言われて再度日本に戻って留学を続けた。もちろん国費留学生であり、博士号まで取得した。

権力の頂点だったホメイニの死後、跡目を狙っていた大統領派の政府グループはハ

メネイを神輿に担いで、張子の虎のイランの枠組みが作られた。ハメネイはホメイニの跡目になれるような器ではないので、軽くて担ぎ易い神輿だ。こうして独立勢力の革命防衛隊にとって怖い人が居なくなった。

アメリカのオバマ大統領は、ハメネイが政治に直接関与しない体制になったと騙されて、ロウハニ政権と核合意を結び、凍結していた資産一、〇〇〇億ドルをイランに返却した。それは革命防衛隊に渡り、自分のヒズボラ、ハマス、シーア派などへの武器援助が一気に進んだ。

アメリカは二〇一五年にイランに「海外資産の凍結解除」をしたと言われているが、実際には革命防衛隊のアラブ湾岸諸国のテロ支配を推進する資金を渡したことになる。

今回のアメリカとイスラエルによるイラン攻撃では、空爆が行なわれて革命防衛隊の基地や建物が破壊された映像が流れた時、日本でもアメリカでも在留イラン人による「アメリカありがと」のデモが起こった。実はイラン人は革命防衛隊とイスラム原理主義者によって国内で厳しい弾圧を受けており、今年一月にイラン各地で反ハメネイデモが起こった時には、「反ハメネイを叫ぶ国民はアメリカの手先だ」と言って治安部隊に射殺命令が出され、推計三万人が殺されている。貧乏なイラン人が海外へ逃げ出したくなるのは当然だ。貧乏人は国民の七〇%以上と言われ、家には家族分の靴がないので、子どもはスリッパで学校に行くと言われている。

さて、日本では中国の人民解放軍が正規の国軍だと思い込んでいる人が多い。実はこれは中国共産党の党軍であり、国家国民と領土領海は全て党の所有物だと規定されているから、守ることになっているだけで、国際戦争



法規に照らせば、国軍・正規軍として扱われることはないのだ。

イラン革命防衛隊もこれと全く同様で、

巨大な軍事組織でしかない。軍事組織が国を支配するなど、本来あってはならないことなのだ。

読者
寄稿

ベトナム人は素晴らしい!? —神戸の街角から

神戸市長田区は多国籍地区として有名な。

現在では韓国、北朝鮮、ベトナム、ミャンマー、ネパール、スリランカ、バングラデシュ等、アジア系だけで二、〇〇〇人が住んでいる。その長田区で彼らのコミュニティがイベントを開催するとなれば、ある程度の広さの公園が必要になってくる。公園を借りる時には、その地区の自治会に申し込むことになる。

アジア系に圧倒的に人気がある「駒ヶ林公園」では、年間何回も外国人のイベントがあるので、自治会では各国の民族性や特徴について嫌でも詳しくなっている。

先日ベトナム人の歌って踊ってのイベントがあったので、自治会長に話を聞いてみた。それによると、ベトナム人だけは使用前よりきれいに掃除して帰るそうだ。ミャンマー人もきれいに掃除するが、ベトナム人ほどではないそう。今では最も汚して帰るのは、中国人と日本人ということだ。何とこの街では、社会性や公共心というのが欠落しているアジア系は中国人と日本人なのだ。

我々は恥ずかしい奴らなのか、それともベトナム人が素晴らしいのか？ たぶん、ベトナム人が素晴らしいのだろう…

大阪府大東市下の、ある中学校教育現場から《十七》

本紙では今やお馴染みとなった、大阪府大東市立中学校教諭のH先生から、久々にお便りを頂いた。社会科の授業で、杉山龍丸氏の活躍を描いたYouTube動画「インドの砂漠を緑に変えたグリーンファザー」を生徒たちに視聴させ、感想を聞くことが出来たという。

玄洋社の設立に携わった杉山茂丸氏のことをご存じの方は多いだろう。頭山満翁らと協力して、インド独立の父ラス・ビハリ・ボースを亡命先の日本で匿ったエピソードなどは夙に有名だ。後年、日本興業銀行の設立をはじめ、初代内閣総理大臣・伊藤博文や我が生産党党祖・内田良平翁と共に日韓合邦など数々の国事に奔走した。

この動画の主人公・杉山龍丸氏は、その杉山茂丸氏の孫に当たり「インドの緑の父」と呼ばれている。

【生徒たちの感想】

○杉山さんがものすごい時間とお金をかけてイ

ンドを緑豊かにした事が分かってすごいと思った。

○ゆーかりがすごい！ あきらめなかったのがすごいし、ゼロから緑をつくっているので：（不明）

○龍丸の凄さとはこらしさがわかった。

○やっぱり、地球っていうのはすごいし、いろいろな国があつてすごい。そんなに変わるのがすごいとおもった。

○不可能と思わなければ可能といって実在させたからすごい。

○（私費を）一四〇億もかけるのすごいなと思いました。

○さばくにみどりのある自然をつくれるとは思っていませんでした。

○たつまるさんがしたことは、いいえきょうをあたえてくれたとわかった。

○ああいう状態から緑にするのはエグイと思う。（以下略）



<https://www.youtube.com/watch?v=IP5Tjt4hyd0&t=6s>